

- 1 題材名 ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう（3時間）
 教材名 鑑賞 「Thriller」「Let It Be」「Waltz For Debby」「Sing Sing Sing」
 「おいしい水 Água de Beber」「イパネマの娘 Garota de Ipanema」

2 題材について

《学習指導要領との関わり》

- B鑑賞 (1) ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(イ)(ウ)について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。
 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割
 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性
 イ 次の(ア)について理解すること。
 (ア) 曲想と音楽の構造の関わり
 [共通事項] (1) ア 音色、リズム、旋律、テクスチャ
 ・思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：音色、リズム、旋律、テクスチャ
 イ フレーズ

(1) 題材観

本題材は、生活や社会における音楽の意味や役割について考えるとともに、音楽の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことをねらいとしている。

これまでの学習を基盤として、教材として扱う音楽のジャンルや時代を広げ、ロックやジャズなどのポピュラー音楽を扱うことで、生活や社会における音楽の意味や役割について、更に幅広く、また、深く理解することのできる学習を目指していく。音楽を形づくっている要素をよりどころに、曲想と音楽の構造の関わりについて、自らあるいは他者と考えることで、楽曲を理解し、味わって聴くことにつなげていきたい。

(2) 指導観

本題材では、音楽を形づくっている要素をよりどころとし、音楽の魅力を考えたり、伝えたりする活動を通して、これからの生活を明るく豊かなものにすることにつなげていきたい。

第1時では、Queenの「We will rock you」を導入として、ポピュラー音楽の中からロック、ジャズ、ボサノヴァの3つのジャンルを鑑賞する。ロックからは、マイケルジャクソンの「Thriller」とビートルズの「Let It Be」。ジャズからは、ビル エヴァンス トリオの「Waltz For Debby」とベニーグッドマン楽団の「Sing Sing Sing」。ボサノヴァからは、アントニオ カルロス ジョビンの「おいしい水 Água de Beber」と「イパネマの娘 Garota de Ipanema」。それぞれのジャンルから、異なる雰囲気曲を2曲ずつ紹介する。同じジャンルでも異なる雰囲気をもった楽曲を聴き比べることで、音楽の諸要素の特徴の固有性や共通性が見付けやすくなると考えている。また、音楽を形づくっている要素である音色、リズム、旋律、テクスチャを生徒の思考・判断のよりどころとし、捉えた音楽の要素と楽曲を聴いてイメージしたことや歴史的背景とを関連付けて考えることで、そのよさや美しさを味わうのにふさわしい教材であると考えている。

STEP1では、導入として「We will rock you」を聴き、曲に込められた思いや歌っている表情などを音楽から想像する。STEP2では、3つのジャンルの音楽を聴き、歴史的な背景や、伝わった経緯について理解した上で、互いに影響し合って成立していることを学習する。STEP3では、気になるジャンルを1つ選び、タブレット端末を使用し、個人で鑑賞する。音色、リズム、旋律、テクスチャなどの音楽を形づくっている要素を聴き、2曲の共通性や固有性を考える。以前、ブルータバの鑑賞時に音色、リズム、速度、旋律、強弱、曲想に着目し、グループで音楽の要素を聴き取る活動を行っている。既習事項を思い出し生かすことと、以前使用したプリントを活用して授業を進めていきたい。

第2時、STEP4では、同じジャンルを選んだ人同士（多くても4人）のグループに分かれ鑑賞する。他者との感じ方の違い、あるいは自分と同じ感じ方があることを知り、多様な感じ方の面白さに気付かせたい。友達の考えを受けて、自分の考えを変えたい場合は友達の意見を書き加えてもよいこととする。

第3時、STEP5では、自分が選んだジャンルの魅力を伝え合う。聴き取った音楽の要素や共通性、固

有性、歴史的な背景や、伝わった経路が結び付くように、工夫する。批評文の書き出しを示したり、ヒントになる音楽を形づくっている要素を記載したりすることで、自主的に批評文が書けるように支援する。また、批評文を Skymenu の発表ノートで提出し、生徒同士で閲覧できる設定にしておくことで、自分では気付かなかった音楽の特徴や楽曲のよさなどに気付くきっかけとしたい。最後に、各ジャンルの音楽の魅力を伝え合い、音楽を聴いて確かめる。

近年 SNS の普及により、誰でも好きな時間に、好みの音楽を楽しむことができる世の中になっている。その時の自分の心情に寄り添ってくれる音楽を見付けることで、より人生は豊かで美しいものになると考える。普段聴いている音楽やこれから聴く音楽のルーツや聴き方を知ること、より音楽に親しみをもち、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てたい

3 題材の目標

- 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。（知識）
- 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等）
- ポピュラー音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）

4 評価規準 ※評価略記号 知識・技能 知 技 知技

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	ポピュラー音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5 研究の視点

【視点1】9年間を見通した学び方の共有

○比較鑑賞する

音楽的な見方・考え方を働かせながら思考力・判断力・表現力等を育み、主体的・協働的な学習に取り組むため、比較鑑賞を行う。

・同じジャンルの2曲を聴き比べる

異なる性質をもった2曲を聴き比べる。それぞれの表現上の特徴に気付き、共通性や固有性を考えるためには、音楽を形づくっている要素の働きに着目することが大切だと考える。音楽は、その背景となる文化や歴史、他の芸術から直接、間接に影響を受けており、それが音楽の特徴に表れている。音色、リズム、旋律、テクスチャの特徴は、それらを生み出し、育んできた人々や文化的・社会的な背景などと結び付いている。共通事項を手掛かりに、2曲の音楽の共通性と固有性を見付け、それぞれのよさに気付かせたい。

・他者の考えと比較する

個人で聴き取った音楽を形づくっている要素と他者が聴き取った要素を比較する。また、STEP 5では、発表ノートに提出された内容を読んだり、他者の発表を聞いたりしたことについて、音楽を聴いて確かめ、さらに、楽曲のよさについて味わうことができるようにしたい。

○9年間の学びを見通して

9年間を通して、世界の音楽-ヨーデル、ホーミー、ケチャや、日本の民謡、オペラ曲等様々なジャ

ソルの音楽を鑑賞し、発達段階に応じて、自己のイメージや感情と、音楽を形づくっている要素とその働きを関連付けて考える活動を行ってきた。今回の授業では、義務教育の9年間の学びの集大成として、今までの音楽の授業での知識や、小学校で積み重ねてきた知識や音楽を形づくっている要素を活用しながら音楽の思考を深めた学びにしていきたい。以前から活用している音楽を形づくっている要素プリントを用いたり、他者と感じ方を共有する時間を設けたりして、充実した学習内容になるように支援していく。

【視点2】音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導の手立て

○タブレット端末の活用

・Mentimeter の使用

Web アプリケーションの Mentimeter を使用して、生徒が曲を聴いて感じたことを共有する。Mentimeter は言葉を選択するだけで、全員の選んだ言葉がその場で表示されるアプリケーションである。どのように感じた人が多いのか、全員の意見がすぐにわかる。それぞれのジャンルの音楽から受けた印象をその場で共有していくことで、複数の楽曲を聴き比べていく手掛かりとしたい。

・鑑賞曲の個人再生

Classroom を利用し、鑑賞曲を生徒が各自で再生できるようにする。気になった曲を選んで何度も聴いたり2つの曲を聴き比べたりなど、自分のペースで楽曲を聴くことができるようにしたい。

・批評文の共有

ワークシートに書いた批評文を、発表ノートで提出する。生徒も閲覧できる設定とし、他の生徒の批評文を読み、自分にはない考えや視点を知り、その楽曲を聴くことで考えを深めさせる。

○学習形態の工夫

個人で聴き比べ、気付いた2曲の固有性や共通性をグループで伝え合う。

・同じジャンルを選んだ者同士のグループ

同じ曲を聴いた者同士でグループになり、知覚したことを伝え合いながら音楽を聴いて確かめる。友達と聴き合うことで、自分では気付かなかった音楽の特徴に気付き、更に楽曲のよさを味わって、聴き深めることをねらっている。

【視点3】評価の在り方

本時では、音楽を形づくっている要素をよりどころに、曲想と音楽の構造の関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く姿を目指している。選んだジャンルの楽曲の魅力や、ルーツとの関わりについて、批評文にまとめていくことで、思考・判断・表現している姿を見取りたい。

○ワークシートの工夫

・ポイントやヒントを示す

批評文の書き出しやポイントとなる音楽を形づくっている要素を示したりしておくことで、考えを整理しながら取り組めるようにする。また、前時までに使用した STEP 1～STEP 4 までのワークシートやヒントプリントなどは、生徒の思考を助ける資料として活用する。

・音楽を形づくっている要素を色分けする

批評文にまとめる際、音楽を形づくっている要素を色分けしてラインを引く。（赤：音色 青：リズム 黄：旋律 緑：テクスチャ）そうすることで、音楽を形づくっている要素をよりどころに、曲想と音楽の構造の関わりについて考えながら、聴いた音楽の魅力伝えていくか、自己で内容を確認することや、教師の見取りに有効であると考えられる。

【コロナ対応として】

- ・タブレット端末を使用し、個人で鑑賞する時間を設ける。その際、貸出イヤホンも準備するが、事前に持参可能であることを伝える。
- ・音楽室入口に消毒液を置き、入室時に手指の消毒を行う。他、任意で使用可能とする。
- ・話し合いは個人で持参しているフェイスシールドを任意で着用可能とする。

6 題材の指導計画及び評価計画（3時間扱い）（本時3/3）

次	時配	◎ねらい　○学習内容　・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素、 （音符、休符、記号や用語）〕	○教師の働きかけ ・目指す生徒の姿	評価規準 （評価方法）		
				知 技	思	態
◎ポピュラー音楽に関心を持ち、音楽が生まれた背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。						
第一次	第1時	○事前アンケートの結果から、自分と他人の音楽の関わり方を比較する。 ○「We will rock you」を全体鑑賞する。（STEP1） ・ワークシートにイメージしたことを書く。 ・感じた曲の雰囲気（曲想）を共有する。 ○ロック、ジャズ、ボサノヴァの音楽ジャンルのルーツを知る。（STEP2）	○アンケート結果より、日常生活と結び付けて音楽がもたらすさまざまな効果を紹介する。 ○本時の目標を確認する。 ①自分の好きな音楽のルーツを知ること で、今好きな音楽をもっと好きになってほしいこと ②今まで聴いたことがなかった音楽に興味をもつきっかけにしてほしいことを伝える。 ○記入する内容を確認する。 ①どんな思いが込められていそう？ ②歌っている時の顔絵文字は？ ③どんなところで歌っていそう？ ○感じたことを共有できるようにMentimeterに入力されたことを、テレビに映す。 ○それぞれのルーツ（生活・社会・文化との関わり）がわかるように作成したスライドで紹介する。 ・生活や社会における音楽の意味や役割について理解している。			態
◎音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える						（観察・記述）
	第2時	○3つの音楽ジャンルを2曲ずつ全体鑑賞する。 ○興味をもったジャンルを1つ選択し、個人鑑賞する。（STEP3） ・2曲の共通性や固有性についてワークシートに記入する。 ☆〔音色、リズム、旋律、テクスチュア〕 ○同じジャンルを選んだ人同士で、グループ（最高4人）となり、再び同じ2曲を鑑賞する。（STEP4） ・知覚したことを伝え合う。 ・改めて鑑賞する。 ☆〔音色、リズム、旋律、テクスチュア〕	○音楽を形づくっている要素の中でも音色、リズム、旋律、テクスチュアに着目して鑑賞することを伝える。 ○Classroomに貼り付けられている6曲の音源を個人鑑賞するように伝える。 ○前時に配付したワークシートのヒントを参考にするように助言する。 ○どんなことに気付いているか確認し、新たに気付いたことは色ペンでワークシートにメモするように促す。 ・自分が気付かなかったことを他の考えから発見し、聴き深めている。	知 （記述・発言）		
◎知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。						

第 3 時 [本 時]	○グループ鑑賞を行う。 ☆〔音色、リズム、旋律、テクスチャ〕 ○批評文を書く。	○どんな気付きがあったのかを確認し、伝え合ったことについて、音楽を聴いて確かめるように促す。 ○STEP 2 「それぞれの音楽ジャンルのルーツをたどってみよう」でまとめた内容やClassroomに投稿されている本題材の1時間目に使用したスライドを見ながら、批評文を書いてもよいことを伝える。 ・知覚したことと感受したことを結び付けて魅力を伝えている。		思	(記述・発言)
	○批評文を読み合う。(STEP 5) ○改めて、それぞれの曲を全体鑑賞する。	○それぞれのジャンルから何人か抜粋し、魅力を発表させる。 ○それぞれのジャンルのよさを味わいながら聴けるように、発表した生徒の批評文をテレビで映しながら、6曲の音源を流す。			

7 本時の指導 (3 / 3)

知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

学習内容 ・ 学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素 (音符、休符、記号や用語)〕	○教師の働きかけ・目指す生徒の姿 ◇評価基準〈評価方法〉 *コロナ対応（場の設定や支援、配慮事項等）
1 本時の目標を確認する。	
2 学習の見通しをもつ。	選んだ音楽ジャンルの魅力を伝えよう
3 グループ鑑賞を行う。 ① 2 曲の音楽を形づくっている要素（音色、リズム、旋律、テクスチャ）の表れと、共通性を伝え合う。 ② ワークシートに 2 曲の音楽を形づくっている要素と、共通性を記入する。 ③ 改めて鑑賞する。 ☆〔音色、リズム、旋律、テクスチャ〕	○これまでのワークシートを見ながら、これまで学習してきたことを生かして、魅力を伝えることを確認する。 ○鑑賞のポイントとなる音楽を形づくっている要素（音色、リズム、旋律、テクスチャ）を、2 つ以上聴き取るように伝える。 ○どんな気付きがあったのかを確認し、伝え合ったことについて、音楽を聴いて確かめるように促す。 ○音楽を形づくっている要素を聴き取ることが難しい生徒には、グループの生徒の考えを参考にして、改めて音楽を聴いて確かめるように伝える。 ○同じジャンルを選んだ人がいない場合は、他ジャンルの曲を鑑賞し、自分が選んだジャンルと比較したうえで、ワークシートに記入するように促す。 ○鑑賞が終わったグループは、改めて感じたことを共有し、他のジャンルにチャレンジしたり、他のグループとタイミングが合えば、メンバーを入れ替えて、再度鑑賞したりするように伝える *希望する生徒は消毒済みのイヤホンを貸し出す。
4 批評文を書く。（STEP 5） ・音楽ジャンルのルーツ（生活・社会・文化との関わりなど）と音楽を形づくって	○STEP 2「それぞれの音楽ジャンルのルーツをたどってみよう」でまとめた内容やClassroomに投稿されている本

いる要素や共通性を結び付けて、その音楽ジャンルの魅力をワークシートに記入する。 ☆〔音色、リズム、旋律、テクスチャ〕 ・音楽を形づくっている要素を色分けする (音色：赤　リズム：青　旋律：黄 テクスチャ：緑) 5 批評文を読み合う。 ・写真に撮って発表ノートで提出する。 ・友達の批評文を読み、よいと思った表現を書き加える。 6 改めて、それぞれの曲を全体鑑賞する。 7 本時の振り返りを行う。	題材の1時間目に使用したスライドを見ながら、批評文を書いてよいことを伝える。 ○3つのジャンルの曲における音色、リズム、旋律、テクスチャの特徴は、それらを生み出し、育んできた人々や文化的・社会的な背景などと結び付いていることを思い出すように促す。 ○批評文の中に音楽を形づくっている要素を2つ以上入れるように伝える。 ・知覚したことと感受したことを結び付けて魅力を伝えている。 ◇音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(思考・判断・表現)〈ワークシート〉 ○それぞれのジャンルから何人か抜粋し、魅力を発表させる。 ○それぞれのジャンルのよさを味わいながら聴けるように、発表した生徒の批評文をテレビで映しながら、6曲の音源を流す。 ○本時のまとめを行う。ワークシートP.4の振り返り部分を記入するように伝える。
---	--